

# 経ヶ岬米軍基地問題 現地報告 2023

米軍基地建設を憂う宇川有志の会

永井友昭

2023/11/12 (日)

## 1. 簡単な経過

△向こう側、★こちら側

### 2013年

- ・ 2/22 (金) △安倍・オバマ会談 → 経ヶ岬に2基目のXバンドレーダーを
- ・ 9/19 (木) △市長、知事「国への協力」を正式表明。
- ・ 12/27 (金) △予定地の地権者、1名を除き契約書提出

### 2014年

- ・ 5/27 (火) △朝6:30より米軍は工事を開始。
- ・ 9/20 (土) 米軍人軍属が峰山のホテルに90人。
- ・ 10/21 (火) △4:27、レーダー本体を搬入。多数の府警、公安の封鎖の中。
- ・ 10/22 (水) △米陸軍「第14ミサイル防衛中隊」(経ヶ岬通信所)発足。
- ・ **12/23 (火) ★「米軍基地いらんちゃフェスタ in 丹後」開催 850人参加。**
- ・ 12/26 (金) △防衛省、レーダーの本格稼働を通告

### 2015年

- ・ 1/21 (水) ~ 騒音問題で現地からの苦情殺到
- ・ 2/19 (木) △朝8時過ぎ、米軍属によるはじめての人身事故が、宇川で発生。
- ・ 3/3 (火) 発電機のマフラー完成。騒音は対して変わらず。
- ・ 5/30 (土) △自衛隊の拡張工事開始。
- ・ 6/2 (火) △網野町島津でシェネガ居住地建設問題化。8月には工事着工。
- ・ 6/25 (木) △ケネディ米国駐日大使基地視察激励。
- ・ 9/19 (土) △参議院戦争法案強行採決。
- ・ 10/16 (金) △防衛省河野統合幕僚長、米軍基地を訪問。
- ・ **10/31 (土) ★「米軍基地いらんちゃフェスタ in 丹後 2015」開催 約700人参加。**
- ・ 12/10 (木) △中谷防衛大臣、米軍基地視察。日米軍事合体の強化を確認。
- ・ 12/22 (火) △シェネガ、島津で入居開始。Yナンバーを中心に車は約40台が駐車。
- ・ 12/25 (金) △網野町魚政前の交差点で軍属(八戸Y)の車と大宮町の青年が事故。軍属が信号無視。

### 2016年

- ・ 1/24 (日) △朝、宇川中浜の「まる幸」前駐車場にシェネガのワゴンが突入逆立ち。
- ・ 7/10 (日) △参議院選挙、自公勝利、改憲勢力2/3へ。
- ・ 7/13 (水) △★韓国政府、星州へのサードミサイル基地建設を公表。住民より大反対運動が起こる。
- ・ 8/3 (水) △北朝鮮ノドンを発射秋田沖EEZに落下。自衛隊、何も分からず。米軍、

何も行わず、何も言わず。米軍レーダーは日本を守らない。

- ・ 9/23 (金) △穴文殊の洞穴上の緑のコンテナが米軍基地「専用トイレ」であった事が判明。「許しがたい」という大きな声が起こる。
- ・ **11/6(日)** ★「米軍基地いらんちゃフェスタ in 丹後 2016」開催 750人が参加。
- ・ 11/29 (火) △福知山射撃訓練場で、米軍の実弾射撃訓練が始まる。

## 2017年

- ・ 2/12 (日) △安倍トランプ会談の最中に、北ミサイルを日本海に発射。レーダーの情報を米軍は全く出さず、安倍はそれを求めもしない。
- ・ 2/13 (月) ★米軍、洞窟上トイレの使用を禁止、閉鎖。
- ・ 3/6 (月) △北朝鮮、ミサイルを4発日本海へ発射。そのうち3発が秋田沖のEEZに着弾。米軍はサードミサイルを韓国に搬入
- ・ 10/11 (水) △沖縄高江で米大型ヘリ民有地へ墜落。日本側現場に入らず外務大臣、防衛大臣ともに「遺憾である」と言うだけ。
- ・ 10/22 (日) △第46回衆議院総選挙 自公圧勝、3分の2を越える。
- ・ 11/5 (日) ★「米軍基地いらんちゃフェスタ in 丹後 2017」開催 約700人参加。

## 2018年

- ・ 1/24 (水) から 1/26 (金) △自衛隊、経ヶ岬米軍基地の警護出動訓練。
- ・ 4/10 (火) △経ヶ岬米軍基地「二期工事」開始。事前事後の情報非開示、土曜日無断工事、基地の外への「はみ出し工事」など重要問題が立て続けに発生。
- ・ 6/1 (木) △5/15にドクターヘリの停波要請を米軍が拒否していたことが発覚。
- ・ 7/2 (月) △ドクターヘリ無停波問題の検証会議 米軍は意味不明な釈明。防衛局は停波のマニュアルも停波のやりとりも公開せず。
- ・ 7/27 (月) △早朝、峰山町菅で米軍Yナンバー車が電柱に激突してへし折る事故発生。米軍も防衛もその情報を一切出さず。
- ・ 9/18 (火) ★米軍基地への商用電力導入ようやく実現。
- ・ 10/29 (月) ~11/2 (金) 陸上自衛隊、2回目の米軍基地警護訓練。第3師団から200名が参加。日米合同の実戦訓練そのものである。
- ・ 11/4 (日) ★「いらんちゃフェスタ 2018」開催 約700人参加

## 2019年

- ・ 2/7 (木) ★「憂う会」事故情報の開示を求め基地前座り込み開始。
- ・ 3/8 (金) ★府議会総務警察常任委員会で、京都府警より昨年2/5以降に米軍の事故は14件という情報が公表される。
- ・ 3/19 (火) △「安安連」19 防衛局は昨年2/5以降の事故14件を認めた上で、今後は件数のみしか報告しないと従来の約束を反故にする。梅田副市長はそれを「理解する」と容認。
- ・ 5/7 (火) ★「憂う会」、副市長へ説明と対話の緊急申入。副市長、それを拒否。
- ・ 5/12 (日) ~5/26 (日) △基地の発電機が連続稼働。米軍からは「止められない。理解せよ。」
- ・ 7/11 (木) △米軍兵士10数名がフル装備で防御訓練。銃口を国道へ向ける兵士もあ

- り。
- ・ 7/21 (日) △参議院選挙。自 113 公 28 維 16 157/245 (64.1%)。野党共闘の一人区 10 勝が改憲勢力 2/3 を阻止した。
- ・ 9/27 (金) ★市民オンブズマン、市長へ住民との対話を拒否する梅田副市長を罷免せよと迫る。
- ・ **11/10(日)** ★「いらんちゃフェスタ 2019」 700 人参加。立憲民主党をはじめ野党 4 党の挨拶を実現し、野党共闘による地位協定改定を確認した画期的集会となった。
- ・ 11/18 (月) ~11/21 (木) △経ヶ岬で日米共同訓練 自衛隊は 200 人、車 40 台規模。米軍兵士が自衛隊側へ入っての「共同訓練」もやられていた。

## 2020年

- ・ 4/26 (日) 京丹後市市長選挙、市議会議員選挙。市長選は他の 3 人を抑え、中山氏(前職)が圧勝。永井 13 位当選。共産党は 1 減で 3 名に。
- ・ 6/16 (火) △河野防衛大臣、秋田と山口のイージスアショア計画の停止を公表。
- ・ 7/7 (火) △6/13 に米軍関係者が飲酒事故を起こしていたこと発覚。詳細が分からず、市長は緊急に抗議文と要望書を柘賀防衛局長とベネディクト司令官に提出。
- ・ 7/10 (金) △緊急「安安連」、市長改めて強く抗議、局長、司令官謝罪。市長は「情報は全部出せ」と防衛に要求し、局長は「検討する」と言ったが、結局改善されず。市も府も、米軍と京都府警には何も確認しないということが改めて分かった。
- ・ 7/27 (月) ~ 8/13 (木) △経ヶ岬米軍基地の軍人から京丹後で最初のコロナ感染が確認され、8/13 (木) には市民も含め 15 人に拡大。完全なクラスターとなった。市長は 8/4 に非常事態を宣言。河野防衛大臣とルオン在日米陸軍司令に緊急要望書提出。
- ・ 8/21 (金) △知事会見、コロナの件で米軍の情報は未だにないと明言。
- ・ 8/26 (水) △米軍 38 防空砲兵旅団ダルトン司令官が市長訪問。市長、改めて感染者の情報提供を求め、司令官は開示に同意。
- ・ 8/28 (金) △安倍さん辞任表明。→ 9/16 (水) △自民党菅政権発足。
- ・ 10/16 (金) △「安安連」24 クラスター問題での米軍情報は闇のまま。事故情報は市長の意向を無視して件数のみを維持。市長は防衛に再検討を求める。
- ・ 11/2 (月) ~11/3 (火) △自衛隊と米軍が経ヶ岬で日米共同訓練。米軍基地内で陸自の部隊が空砲を使つての激しい侵入者撃退訓練を実施。
- ・ 11/8 (日) ★「いらんちゃフェスタ 2020」 コロナ禍の中人数を制限し(参加者 130 人、リモート 60 人)、会場とネット発信とハイブリットで行う。
- ・ 11/27 (金) △午後、米軍基地の国道側フェンスに黒いビニールシートが張られ道からは何も見えなくなる。
- ・ 12/16 (水) △「安安連」25 防衛局、事故情報の新基準を公表。人身事故などを除き件数のみ「安安連」で報告。これでは何も分からない。
- ・ 12/15 (火) ~12/21 (月) △停電を機に米軍基地の発電機稼働。寒波の落雷もあって連続稼働。停電が終わってもすぐにチェンジできない。

## 2021年

- ・ 2/15 (月)、2/18 (木) ★「日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書の提出を求める陳情」を、京丹後市議会と京都府議会へ、それぞれ 4000 筆以上の署名を付けて提出。 →いずれも賛成少数で否決。
- ・ 3/18 (木) △市長、防衛大臣宛の約束 10 項目の検証結果(「フォローアップ」と表現)を手渡す。
- ・ 6/16 (水) △未明に参議院で「重要土地利用規制法」成立。反対は立民、共産、社民。与党が強行採決。
- ・ 6/25 (金) ~7/2 (金) △日米共同訓練「オリエント・シールド 21」で経ヶ岬でも訓練実施。6/30 (水)、自衛隊敷地内で私服の一般人が銃撃を受けるという訓練あり。
- ・ 9/15 (水) ★市長、土地規制法について対象地区になるなら住民との関係をしっかり確認して必要あれば国へ上げると答弁。
- ・ 12/12 (日) ★「いらんちゃフェスタ 2021」コロナ対策で完全オンライン開催。当日視聴者 340 名。再生回数 700 回。

## 2022年

- ・ 2/1 (火) △米軍、黒部のマンションを引き払う。完了は 2/4。
- ・ 3/1 (火) △米軍基地で基地完了イベント、米軍の司令官来丹、市長も出席。
- ・ 4/25 (月) △米軍発電機全 6 基を新機種に取り替え。自衛隊から米軍にかけて新しい通信ケーブルの敷設作業あり。
- ・ 4 月後半 △ロシアのウクライナ侵略や中国・北朝鮮の動きの中で、日本海で大がかりな日米の海上合同演習あり、それに続いて米韓の共同軍事演習もあり。北朝鮮、盛んにミサイルを撃つ。
- ・ 5/16 (月) ~5/18 (水) △陸自、大規模な通信訓練を経ヶ岬駐車場などで展開。連日ヘリコプターが宇川の上空を飛び尾和では大変な騒音となった。
- ・ 6/5 (日) △北朝鮮、ミサイル 8 発を日本海へ。経ヶ岬特に変化なし。
- ・ 6 月中旬 △米軍基地の国道側に新型環視カメラが設置された。
- ・ 8/18 (木) △防衛省、重要土地規制法について市へ情報提供。所管の内閣府は説明会をやらないので市長が特別に要請しての開催となったらしい。
- ・ 8/24 (水) △重要土地規制法の基本方針案に対するパブコメに、**市は地元の声**を聞けという趣旨で**3カ所の修正意見書を提出**。
- ・ 8/29 (月) ~9/2 (土) △中浜漁港で「水陸機動団」(本部佐世保)が訓練。こんなところで何故？
- ・ 9/16 (金) △政府、土地規制法の基本方針を 2760 件のパブコメ意見を無視して決定。
- ・ 9/20 (火) △土地規制法、施行。
- ・ 10/11 (火) △政府、土地規制法の指定第一次「注視区域」29カ所、「特別注視区域」29カ所の 58カ所を提示。今回は離島関係のみ。
- ・ 10/23 (日) △夕方宇川だけ停電。米軍の発電機緊急稼働。停電復旧後も止めず。尾和では、無茶苦茶うるさくて頭が痛くなったと苦情多数。
- ・ 11/3 (木) △北朝鮮朝から夜までミサイルバンバン発射(23発)。現在韓国でやら

- れている米韓の合同空軍演習に反発。日本ではまたJアラートで混乱。
- ・ 11/8 (火) △**夕方、三津のバイパスで地域の老人と米軍関係者の車の接触事故あり。**防衛、軽微な物損と市へ報告。人と接触して物損か！
- ・ 11/10 (木) ~11/12 (土) △経ヶ岬で日米合同訓練、11/12には山崎統合幕僚長が視察。ハワイからブライアン米軍司令官も視察。
- ・ 11/28 (月) △防衛局、11/8 の三津バイパスの事故は人身事故であったと報告を変更。
- ・ 11/30 (水) △「安安連」33、事故の件で市長抗議、近中局長「受け身の対応であったと反省している」と認め、謝罪。市長は検証を要望。
- ・ 12/11 (日) ★**「いらんちゃフェスタ 2022」**参加者約 300 人、ネット視聴拠点 60 カ所。久しぶりに近畿全域から多くの方が集まったの集会となった。
- ・ 12/16 (金) ★「丹後の会」、「憂う会」、三津の事故の件で市長へ抗議文提出。
- ・ 12/16 (金) △国、土地規制法に基づいて 58 カ所を「注視区域」、「特別注視区域」に正式に指定。

## 2023 年

- ・ 1/24 (火) △臨時「安安連」を書面で開催。防衛局近畿中部防衛局長が来丹して「検証内容」を公表。対応が不十分、対策チームを作る。市も検証を公表。
- ・ 2/22 (水) **米軍基地問題発生より 10 年。**
- ・ 4/6 (木) 石垣島の近海で第 6 師団長以下幹部 8 人を乗せた自衛隊のヘリが墜落。原因不明。重大事故だが機体が引き上げられても情報は全くなし。
- ・ 4/13 (木) 朝、北朝鮮ミサイル発射。ICBM で北海道にJアラート発令で混乱。
- ・ 4/15 (土) 岸田首相、遊説中にパイプ爆弾を投げられる。
- ・ 5/12 (金) △政府、**土地規制法による第 2 次の指定候補**として特別注視区域 40 カ所、注視区域 121 カ所を公表。宮古、石垣、与那国などの自衛隊基地や小松、佐渡などの主要基地が特別注視区域として提示される。
- ・ 5/19 (金) ~5/21 (日) G7 広島サミット。G7 の首脳が広島に集まり資料館を訪れ被爆者の話を聞き、献花をしながら「核の抑止力で平和を守る」などと宣言。
- ・ 6/10 (土) ★**「Xバンドレーダー基地反対現地集会」**(主催近畿連絡会)開催。会場は米軍基地前袖志区墓地前広場、参加者約 100 名。
- ・ 6/16 (金) △岸田政権、**防衛財源法を可決。5 年で 43 兆円の防衛費への道を開いた。**とんでもないことである。
- ・ 6/16 (金) △「安安連」35。水質検査の結果、尾和沖、袖志沖で COD (科学的酸素要求量) が基準値を上回っていることが報告される。
- ・ 6/22 (木) ★市議会一般質問。事故対策チームは従来のことを行っているだけを確認。**国の防衛費倍増について、市長は「十分理解できる」と答弁。**
- ・ 6/25 (日) △空自経ヶ岬分屯基地 66 周年イベント。滋賀県饗場野の PAC3、石川県小松基地の地对空ミサイルを展示。
- ・ 6/26 (月) △丹後町竹野の国道で米軍関係者の車両と竹野の方の車の接触事故が発生。
- ・ 6/30 (金) △政府、土地規制法の第 2 次区域指定 161 カ所 (内特別注視区域は 40 カ所) を了承。指定の自治体からは強い反対の意見もあり。

- ・ 7/1 (土)      △網野町の国道脇の田んぼに米軍の Y ナンバー車が突っ込む事故発生。
- ・ 7/1 (土)      ★京都円山で沖縄連帯集会。前泊先生の講演の後、N が現地報告。
- ・ 7/5 (水) ~7/6 (木)      米軍射撃訓練。
- ・ 7/6 (木)      防衛局より府へ事故の報告あり。6/26 の竹野の事故は双方ケガなし。7/1 の事故は米軍関係者の単独事故である。詳細は何も明らかにされず。京都府警は何も答えられないとのこと。
- ・ 7/27 (木) ~7/29 (土)      △米軍の発電機、2 基分 (マフラー4 つ) が 60 度のフル稼働。大変な騒音。連絡所に確認すると、原因は停電とのこと。
- ・ 8/7 (月) ~8/9 (水)      △自衛隊、経ヶ岬や太鼓山などで通信訓練。
- ・ 8/17 (木)      △司令官交代式、基地内の広場で式典。式典に参加した米国領事が市長を訪問。10 代目の新司令官はダニエル・クアント大尉。
- ・ 8/23 (水)      渉外知事会、日米政府に米軍基地の P F O S について米軍基地の立ち入り調査を求める要望書を提出。
- ・ 8/24 (木)      穴文殊祭、3 年ぶりに通常の形で開催。
- ・ 9/11 (月)      △国、土地利用規制法に基づく第 3 次の候補地新たに 180 ケ所を発表。今回初めて米軍基地も 6 ケ所入る。3 回の指定で合計 399 ケ所となる。
- ・ 9/13 (水)      ★北朝鮮の金正恩総書記がロシアを訪問しプーチン大統領と会談。
- ・ 10/5 (木)      JGJ 関西とアメリカ軍 0B の VFP の皆さん 10 数名が文殊さんへ。「憂う会」とも交流。基地からの水を採取し P F O S などの分析をされる予定。
- ・ 10/12 (木)      ★「安連」36。司令官が 9 年で 10 人も変わり、現地での課題が継続されてないという指摘が地元区長からなされた。
- ・ 10/24 (火) ~10/26 (木)      米軍射撃訓練。
- ・ 11/12 (日)      ★「いらんちゃフェスタ 2023」      丹後文化会館

## 2. 最近の問題点の整理

### ① 交通事故問題

- ・ 昨年 11/8 (火) の国道 178 号三津バイパス事故問題 (防衛局も京丹後市も人身事故を軽微な物損事故で処理しようとした) を受け、防衛局は 1/24 に検証結果を公表。「受け身の対応が原因」「真摯に反省する」とし「交通安全対策推進チームを作る」と発表。京丹後市も「迅速な情報共有を怠った」と検証結果を示した。
- ・ その後、「推進チーム」が市民への広報活動や交通安全講習などを行っているが、内容的には従来と代わり映えはしない。
- ・ 6/26 (月) に丹後町の竹野地区内で米軍関係者と地元住民の車両の接触事故が発生、7/1 (土) には網野町新庄地区内で Y ナンバー車が田んぼへ突っ込む事故が発生。前者では 6/28 (水) になっても詳しいことは何も分からない。後者では、7/3 (月) の朝になっても何も知らないというのが、防衛局現地連絡所と市基地対策室の実情であった。府や市の問い合わせの中で防衛局から 7/6 にそれなりの情報が出されたが、米軍からも警察からも迅速な情報提供はなされていないことが今回もよく分かった。
- ・ 防衛局の「対策チーム」にはよくやっつけているというのが市の見解であるが、全く不十分、一体何をしているのか、というのが実態である。
- ・ 米軍は「協力する」と口では言うが実態は伴わない。京都府警はとにかく何も言わない。

- ・「安安連」36 では最近 3 ヶ月の事故を丹後町と網野町の 2 件の事故を含め「交通事故 4 件」と記しているだけである。これでは住民の安心・安全は守れない。

## ② 土地規制法問題

- ・ 21/6/16 に与党の強行採決で制定され、翌 22/9/20 に施行された重要土地調査規制法に基づいて、22/10/11 に 58 ヶ所が第 1 次指定。今年に入って 5/12 に第 2 次指定 161 ヶ所、9/11 に第 3 次指定 180 ヶ所。3 回の指定で現在合計 399 ヶ所となっている（注視区域 284、特別注視区域 115）。3 次指定には米軍基地 6 ヶ所も含まれ、経ヶ岬も指呼の間に入った。
- ・ この法律は関係施設の周辺 1 km の住民・関係者を調査し、阻害行為を規制し、土地取引等に制限を加えるが経ヶ岬はより制限のきつい特別注視区域に入れられると思われる。
- ・ 候補自治体からの意見の聴取はなされ、反対の声も出されているが指定から外されたところはない。担当の内閣府は説明会の開催などは拒否。
- ・ 京丹後市長は国への意見書等を出し、住民の声は国にしっかり届けると言うが、国の方にまるで聞く耳がない。

## ③ 発電機問題

- ・ 昨年 5 月に全て新型に交換された 6 基の発電機、マフラー内蔵で「静音型」と言うが騒音は大して変わってはいない。
- ・ メンテナンスのための稼働は、通常月曜から金曜の週日の朝の時間帯（8:00～8:30）に順番で行われている。2 基が動く金曜日は相当にうるさい。
- ・ 土日、祝日、夜間、早朝は動かさないことが基本だが、落雷や停電等を理由にそれらの時間に稼働していることも多い。そういう場合には米軍より連絡が来ることになっているが、原因がなくなっても速やかに停止とは中々ならない。

## ④ 排水問題

- ・ 今年 3 月の付近の海の水質検査で、汚染度を示す COD（化学的酸素要求量）が高いことが分かった（排水場所に近いポイントで 2.3 と基準を 0.3 上回る）。基地との関連は分からないとのことだが、排水の実態も含めとても気がかりである。検査は継続される。
- ・ 最近全国の基地周辺の水質・土壌を汚染しているとして大問題となっている PFOS などの有機フッ素化合物であるが、確認したところ、米軍、自衛隊ともに経ヶ岬では使用したこともなく保管もされていないという防衛局の回答である。
- ・ 米軍基地に関しては直接の検査はできないので確たることは分からない。8/23 に渉外知事会（米軍基地を抱える都道府県知事の会）は立ち入り検査を求める要望書を国と米軍に提出したが、反応は見られない。
- ・ 従来公表されている排水場所以外に基地内からの水が常時出ている場所を最近確認した。詳しい方がこの水を採取して現在分析している。

## ⑤ その他

- ・ 「三角地」に正式ゲートを作る件は、今年に入っても全く動きなし。三角地は臨時駐車場としてたまに利用されるだけ。
- ・ 基地の本格稼働からもうすぐ 9 年。基地は完成し要塞化してその情報がほとんど出され

なくなった。一方で日米合同の軍事訓練は回数も内容も激化の一途。

- ・諸悪の根源である日米地位協定に対して、市長は一応見直しを要望してはいるが、全く不熱心。

### 3. 最近の状況

- ① 岸田政権は、国内の諸問題で信用をなくし支持率が 30%を切る状況だが、諸物価高騰で日々苦しむ国民生活を見捨て、アメリカの意を体し軍事費倍増、反撃能力保持など専守防衛を投げ捨て日本国憲法を見捨てた亡国政策に驀進している。
- ② 長期化するロシアのウクライナ侵略、新たに始まったイスラエルのパレスチナ攻撃、東アジアでの米中対立の深化など東アジアの緊張状態はエスカレートするばかり。沖縄辺野古基地強行建設に象徴される米主日従体制は強化されるばかり。
- ③ 安倍政権の発足とともに始まった経ヶ岬の米軍基地は、稼働から 8 年 10 ヶ月が経ち基地機能を完成。拡大された隣接の空自経ヶ岬基地とともに東アジアの重要軍事拠点となった。
- ④ 毎年繰り返される大がかりな日米共同軍事演習の度に、経ヶ岬でも合同訓練が繰り返され、米軍や自衛隊の要人が視察に訪れている。
- ⑤ 憲法違反の「土地規制法」による区域指定が進んでいるが、経ヶ岬が「特別注視区域」になる日も近いと思われる。
- ⑥ 任期 4 年目に入った中山市長は、米軍、防衛省へ一定のケジメある態度を求めているが、肝心の時に毅然とした態度をとれない。国の軍拡は「十分理解できる」。
- ⑦ 現在丹後町、宇川地域は基地関係の資金などが入った土木工事があちこちでやられ、今後も数年間続く予定。安全対策の徹底が求められる。再編交付金の約 32 億円は 2018 年度で終了。残基金は約 1 億円。様々な事業に投入されている。

### 4. これからの取り組み

- ・今日、この「いらんちゃ 2023」を大成功させ、「米軍基地はいらない！」という私たちの思いを京丹後市全体と全国に発信すると同時に、大軍拡で戦争準備を進める岸田政権へも「ノー！」の声をしっかり上げよう。
- ・基地に関わる様々な問題をチェックし、関係機関、市、議会への取り組みを強化しよう。
- ・最新の問題を広く市全体に広報し、地位協定の抜本的見直しに向けての世論を喚起しよう。
- ・問題の元凶は日米地位協定と米国に追従する岸田政権にある。今後の国政選挙で今の与党を大敗させて、国政の大転換を計ろう。
- ・そのために野党共闘をこの京都府で目に見えるものとし、この国の主権を取り戻す政策に繋げよう。

#### ★「憂う会」、「宇川の風」連絡先

永井携帯 090 3272 3712 永井アドレス tx-nagai@maroon.plala.or.jp

FB「文殊さん不定期報告」は「憂う会」で検索！

議会関係は、宇川の風「永井のチャレンジダイアリー」 HP <https://nagai.com/> で。

#### ★「憂う会」は現地宇川に抵抗の旗を立て続けます！